

地誌 第18回「アフリカ地誌④ 東アフリカ・西アフリカ(ギニア湾岸諸国)」

○今回のポイント

エチオピアはエジプト唯一の現地人独立国家。
ギニア湾岸は大西洋の黒人奴隷貿易が発展に影響を与える。

東アフリカ諸国



(1)エチオピア

- アフリカ最古の独立国 宗教は主にキリスト教 [① コプト派] 公用語はアムハラ語
- 人口約 8300 万人(アフリカでは[② ナイジェリア]に次いで多い。)
- 一人当たり GNI (国民総所得) はアフリカでも低い水準。 [③ 最貧国] のひとつ。
- エチオピア高原南部のカフエ地方は [④ コーヒー豆] の原産地。コーヒー豆はエチオピアの重要な輸出品。
- 牧畜が盛んで [⑤ 牛] の飼育頭数が多い。皮革製品も輸出されている。

(2)ケニア 旧英領(1963年独立) 公用語はスワヒリ語と英語

○ [⑥ スワヒリ語] …アフリカ東岸現地語とアラビア語の融合言語。ケニアやタンザニアなどで使用される。

○ [⑦ ホワイトハイランド]

⇒白人が入植した高原地帯。ケニアは国土の中央に赤道が通過するが、標高が高い所は気温が低く過ごしやすい。そのため、高原地帯に白人が入植して、茶やコーヒー豆などのプランテーションが開かれる。世界有数の茶の生産国。

(3)マダガスカル 旧仏領 (1960年独立←「⑧ アフリカの年」)

○主要民族…10世紀頃までに東南アジアから移住してきた [⑨ マレー系] (オーストロネシア語族)

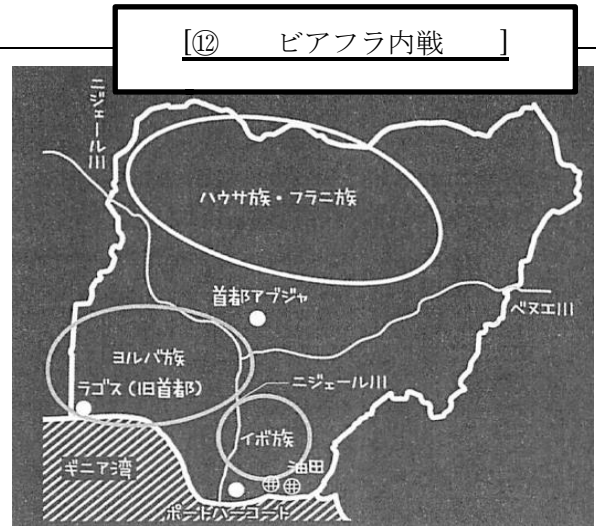
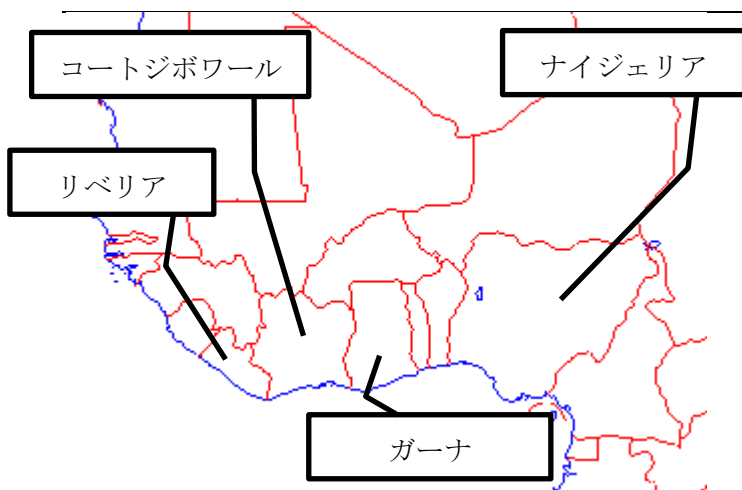
○主要産業…稲作



○気候

- ・インド洋からの南東貿易風が中央部の高地にぶつかり、斜面に沿って上昇気流が生じるため、風上側の東部は [⑩ 年中多雨] となる。
- ・風下側となる西部では降水量が少なくなり、南西部では [⑪ 砂漠気候] (BW) や、ステップ気候 (BS) が分布する。

西アフリカ(ギニア湾岸諸国)



(1)ナイジェリア 旧英領(1960年独立) 人口約1.6億人(2010、アフリカ最大) ギニア湾岸

- 宗教…かつての奴隷貿易の中心地 ⇒ 北部にはイスラーム教、南部にはキリスト教
- 気候と農業
 - ・南部：熱帯雨林気候(Af、Am)：カカオ豆・油やしプランテーション。[13] キャッサバ]
 - ・北部：サバナ気候(Aw)とステップ気候(BS) ⇒北部に向かうほど降水量は少ない：遊牧、綿花、[14] 落花生]
- [15] ニジェール川]
 - ・湿潤地域を水源として乾燥地域を貫流する[16] 外来河川]
 - ・河口部には上流から運搬されてきた土砂が堆積してできた広大な[17] デルタ](三角州)
 - ・河口付近には[18] 油田]。輸出額に占める原油の割合は8割。アフリカ最大の産油国でOPEC加盟国。
- 民族紛争…南西部：ヨルバ族、北部：ハウサ族、フラニ族、南東部：イボ族
 - ・[19] ビアフラ内戦]：油田地帯に分布するイボ族がビアフラ共和国として分離独立を宣言。ハウサ族、ヨルバ族は油田の権益確保のため一斉に反発し内戦に陥り、100万人以上の餓死者を出したうえ、イボ族は全面降伏。
 - ・内戦終結後は、首都が[20] ラゴス]⇒[21] アブジャ]に遷都され、民族融和を図る。

(2)リベリア 首都モンロビア

- ・アフリカ最初の黒人共和国(黒人の独立国の中ではハイチに次ぎ2番目)。
- ・[22] 合衆国解放奴隷]が建国。(英国解放奴隷の国はシエラレオネ)
- ・[23] 便宜置籍船国]…船舶にかかる登録税などが安いので、先進国の海運会社などが船籍を便宜的にリベリアに置く。そのため商船保有量が世界有数になっている。

(3)コートジボワール (仏語で「[24] 象牙海岸 」の意味) 首都ヤムロスク 旧仏領

- ・[25] カカオ]世界一の生産量(2010年)。コーヒーも増加。北部はゲリラ紛争地域。

(4)ガーナ 首都[26] アクラ]は経度0度で本初子午線を通る

- カカオ生産量…①コートジボワール(124万)／②インドネシア(81万)／③ガーナ(63万)／④ナイジェリア(43万)／⑤カメルーン(26万)
- 旧[27] 黄金海岸]でダイヤモンド・金を産す。
- ボルタ川の[28] アコソンボダム]の電力でアルミニウム生産。